

Hokkaido 北海道

北海道がんセンター 北海道がん登録室
齊藤 真美

北海道の特徴

北海道は、日本の北端に位置し、四方を太平洋、日本海、オホーツク海に囲まれた島です。面積は約8万km²で全国1位の広さです。恵まれた自然環境の中で、約540万人の北海道民が生活しています。人口は47都道府県の中でも、上位に位置していますが、人口密度は69.63人/km²と、全国平均を大きく下回っており、広大な土地に人々がのびのびと暮らしています。道内には、21の二次医療圏があります。厚生労働省から指定されている都道府県がん診療連携拠点病院が1か所、地域がん診療連携拠点病院が19か所、地域がん診療病院が2か所整備されています。さらに、北海道が独自に指定した、北海道がん診療連携指定病院が24か所整備されています。これらの施設が中心となり、周りの医療機関と連携し北海道のがん医療を担っています。

北海道がん登録の歴史

北海道は昭和47年より、北海道の事業として地域がん登録が開始されました。平成3年から平成20年までは財団法人北海道対がん協会に委託の上、地域がん登録が実施されてきました。平成21年からは、都道府県がん診療連携拠点病院である北海道がんセンターに委託の上、地域がん登録が実施されてきました。そして、全国がん登録が開始になった平成28年1月1日からは、引き続き北海道がんセンターが都道府県がん登録業務の委託先となっています。

登録室紹介

都道府県がん登録業務が、北海道庁より、北海道がんセンターへ委託されて以来、北海道がんセンター内に登録室が設置されています。登録様式は標準登録様式、データベースシステムは標準データベースシステムを導入し、平成27年からは、全国がん登録データベースシステムを導入しています。平成21年当時、登録室長を含め5名のスタッフで出発した登録室は、現在、登録室長(医師)1名、集計・解析担当者2名(臨床検査技師、診療情報管理士)登録実務担当者6名(非常勤)の在所となり、日々の業務を行っています。

現状と課題

昭和47年から開始された地域がん登録事業では、残念ながら、長い間、データ解析をするまでに至っていませんでした。近年、北海道のがん死亡率が全国で高い状況が続いているため、この状況を改善しなければならないという思いから、北海道庁と北海道がんセンターが一丸となり、データ集計・解析に取り組み始めました。データ解析をしてみると、北海道のがん死亡率の高い原因が明確になりました。

今後は、がん登録データの解析結果をどのような形で北海道のがん対策に活用していけるかを検討したいと考えています。また、各市町村のがん対策にも、がん登録データの解析結果を利用しやすい環境を整備し、がん登録データから、がん対策を立案することの必要性を各市町村へ訴えていきたいと考えています。

さいごに

北海道は、死亡率の低下を目指しがん登録のデータを活用したがん対策づくりを開始したばかりです。

これからも、皆様のご指導を賜りますよう、お願いいたします。



北海道がん登録室のようす